

クレタ工科大学エラスムス・プラスプログラム募集要項
(2024年秋学期)

クレタ工科大学（以下、TUC）とのエラスムス・プラス協定に基づいて本学の学部又は大学院に在籍しつつ、給付奨学金を受給しながら、TUCで教育を受けて単位を取得する又は研究指導を受ける派遣学生を募集する。

1. 応募資格

(1) 応募の時点で、

- ・工学部 環境・社会基盤工学科
- ・工学研究科 環境・社会基盤工学専攻
- ・工学研究科 総合工学専攻（環境・社会基盤工学科の研究室所属）

に在籍する学生で、応募時点と派遣期間に休学していないこと。

(2) 原則として、派遣先大学が求める語学レベル（※）の語学能力試験証明書を有していること。

※英語 B1～B2 レベル

語学力基準は [CEFR \(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment\)](#) を基に表記。

(3) 派遣前と派遣中に必要とされる語学の学習ができること。

(4) 応募に際して必要な書類を期日までに提出し、提示された選考日時の面接に対応できること。

(5) 派遣される場合、自身の責任においてビザ申請や海外留学保険加入等を行えること。

※ 海外留学保険については、学研災付帯海外留学保険に加入することができる。（大学事務局から別途案内）

※ 本学の授業料を納付することにより、留学先での授業料等は徴収されない

2. 募集人員

学部・博士前期課程・博士後期課程の学生 計3名

3. 留学期間

(1) 学部/博士前期課程の学生

TUCにおける冬学期（2024年10月23日～2025年2月中旬）の、約5か月

※授業開始1週間程度前には現地に到着していることが望ましい。

(2) 博士後期課程の学生

TUCにおける冬学期（2024年10月23日～2025年2月中旬）のうち、約3か月

4. 応募書類と応募手続き

下記の書類を事務局に提出

(1) 学部生

- ① 参加申込書
- ② 志願理由書（日本語で記述、形式自由）
- ③ 指導教員の推薦書
- ④ 学業成績証明書（学部1年次～2023年度後期まで（他大学在籍分も含む））
- ⑤ 保護者同意書
- ⑥ 語学能力試験証明書（英語）
IELTS, TOEFL が望ましいが、英検、TOEIC も可
語学能力試験証明書は、本学に在学期間内に受験したものであること。

(2) 博士前期・後期課程生

- ① 参加申込書
- ② 志願理由書（日本語で記述、形式自由）
- ③ 指導教員の推薦書
- ④ 学業成績証明書
- ⑤ 研究業績一覧
- ⑥ 保護者同意書
- ⑦ 語学能力試験証明書（英語）
IELTS, TOEFL が望ましいが、英検、TOEIC も可
語学能力試験証明書は、本学に在学期間内に受験したものであること。

※ 提出書類の不備・不足は選考対象外となる場合があるため、必ず提出前に確認すること

※ 派遣決定後の辞退は原則認めていないので十分注意すること

5. 募集期間と派遣決定

2024年4月5日（金）～2024年5月31日（金） 学内募集期間

2024年6月3日（月）～2024年6月21日（金） 選考期間

※ 必要に応じて、面接を実施（面接日時は、学生に直接連絡する）

2024年6月24日（月）選考結果発表予定

2024年6月末 TUCに推薦

2024年7月上旬 TUCからの許可を得て、派遣決定

- ▶ 締め切り後の追加提出・差替えは、一切受け付けない。
- ▶ 学内選考では学業成績・志望動機・語学力を総合的に判断する。個別の結果通知に関する問い合わせは受け付けない。
- ▶ 選考結果は、推薦・非推薦のどちらかにより通知する。

6. 学習の内容及び単位の認定

(1) 学部生

- ・ TUC にて授業を履修（使用言語：ギリシャ語・英語）
- ・ TUC での授業の単位数（ECTS）を本学の単位数に変換し、卒業要件単位の内、専門基礎科目・専門共通科目・専門科目（卒業研究以外）の単位数として認める。ただし、教育課程表の「備考」欄で示した要件は、別途満たす必要がある。
- ・ 20ECTS 分の履修を行うこと
- ・ 特別聴講学生に係る他大学等授業科目履修願を提出すること（別途案内）

(2) 博士前期課程生

- ・ TUC にて授業を履修、または研究室にて論文執筆（使用言語：英語）
- ・ TUC での単位数（ECTS）を本学の単位数に変換し、他専攻の授業科目の修得単位と合わせて 10 単位まで、修了に必要な単位（修了要件単位）として認める。ただし、教育課程表の備考欄で示した要件は、別途満たす必要がある。
- ・ 論文執筆を行う場合は、25～30 時間の学習量を 1 ECTS とし、TUC の指導教員が単位数と成績を評価する。単位認定方法については、上述の授業科目と同様。
- ・ 20ECST 分の履修もしくは論文執筆を行うこと
- ・ 特別聴講学生に係る他大学等授業科目履修願を提出すること（別途案内）

(3) 博士後期課程生

- ・ TUC の研究室にて論文執筆（使用言語：英語）
- ・ ECTS 数の指定、本学での単位認定は無し

※ 学部生、博士前期課程生が TUC で履修できる科目の一覧

<https://www.tuc.gr/en/studies/erasmus-programme/student-mobility-for-studies/course-catalogues>

“School of Chemical and Environmental Engineering Course Catalogue” を参照

※ 本学における 1 単位 = 1.8 ECTS として換算（最小認定単位は 0.5 単位とし、0.5 単位未満は切り捨て。）

7. TUC で論文執筆を行う場合

予め TUC で指導を希望する教員の内諾を得た上で、申請すること。

申請時には、提出書類と合わせて TUC の教員からの受入内諾書（E メールでも可）を提出すること。

TUC での指導教員を探す際には、下記の TUC エラスムス・コーディネーターに問い合わせること。

【TUC エラスムス・コーディネーター】

School of Environmental Engineering

Professor Stelios ROZAKIS

Tel. +0030 28210 36160

srozakis@tuc.gr

8. 留意事項

- 本学での授業・試験日程、就職活動、卒業までの履修計画、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの派遣可能人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学機会損失につながるため、応募後に辞退することのないよう十分注意すること。
- 卒業年次に出発する学生は、留学先での成績証明書が年度内に受領できず、卒業までに単位認定が間に合わない可能性があるため、十分注意すること。
- 最終的な留学の可否は、派遣先大学が決定するため、学内で出願が認められても必ずしも留学できるとは限らない（相手大学の事情、本人の語学力、履修科目、成績などさまざまな理由で受入れ不可・変更になることがある）。
- 希望した科目を履修できない場合もあるため、柔軟に対応すること。
- ビザ・住居・保険・航空券の手配に関しては自身で行うこと。
- 派遣先国における入国制限または外務省による危険情報・感染症危険情報の発出状況等により、本学が留学中止や留学時期の変更を指示する可能性があるため、留意すること。

9. 保険について

渡航期間中は必ず救援費・治療費が無制限の日本の海外旅行保険に個人で自己負担にて加入すること（「学研災付帯海外留学保険」の場合、半年の留学：6万円程度）。

派遣先大学で、指定された保険への加入が義務付けられている場合は、日本で加入した海外旅行保険と現地の保険の両方に加入する必要がある。

10. 経済的支援について

【エラスムス・プラスプログラム奨学金】

本プログラム参加者には、渡航費支援 1500 ユーロ（日本発着の場合、往復分 1 回限り）と奨学金 850 ユーロ×渡航月数分が、以下のスケジュールの通り、2 回に分けて支給される。

- ・渡航費支援：渡航前に日本の銀行口座に支給
- ・奨学金：総額の 80%を原則、渡航前に日本の銀行口座に支給
残りの 20%を所定の書類を提出後に日本の銀行口座に支給

※早期帰国をした場合は、奨学金が満額支給されない場合がある
※状況により、渡航後に支給される可能性もあるため注意すること

1 1. 留学後の報告

派遣留学生は帰国後、期限までに以下の書類を提出すること。

- ① 交換留学報告書 ※帰国後 1 カ月以内
- ② 派遣先大学の成績証明書 ※発行され次第

また、本学や TUC が実施するアンケートや留学体験に係る広報・イベント等に積極的に協力すること。

本プログラム問い合わせ先
事務局教務課学生係
E-mail: kokusai@pu-toyama.ac.jp
※問い合わせはメールにてお願いします。